

MAMANOEN
Report



合同会社ままのえんのミッションは「つながりづくり」 13年間の実績を活かした 新たなプロジェクトがスタートしました

2024 年は新たなチャレンジが始まった年です。さいたま市都市公園指定管理業務の支援がスタートしました。年度始まって6月、1 件のお電話でのお問い合わせから動き始めたプロジェクトです。翌年度4月1日からの指定管理開始に向けて、半年以上前から丁寧に準備を進めてきました。

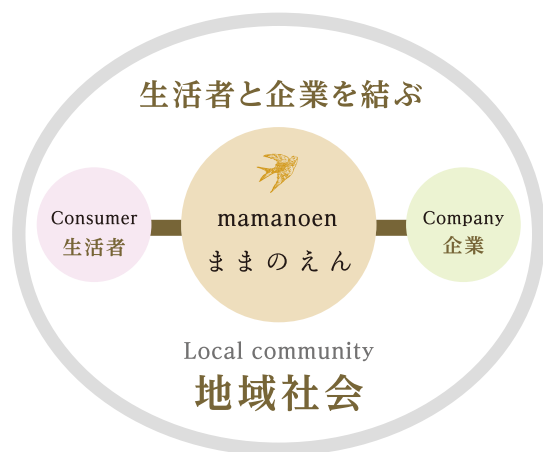
私たちがさいたま市で暮らし、創業をし、10年以上事業を営んできた中で、たくさんの方々と連携させていただいています。そんな中で培ってきた人脈やネットワークが、このような形で生かされていくとは思っていませんでした。新規で指定管理をされる事業者さまがさいたま市内で事業を開始するための支援、子どもたちが小さい頃からお世話になっているさいたま市内の公園を広報するための取材、写真撮影、ホームページの作成運用、SNSの立ち上げや運用、年間イベント等の企画立案、関係各所へのお繋ぎ、広報支援などなど・・・4月以降も継続して各種支援に取り組んでいます。



自分達が暮らす街に直結するお仕事は非常にやりがいがあります。さいたま市の魅力に改めて気づくことも多いです。顔が見える関係を大切に丁寧に紡いできたからこそ、安心してつながりづくりのサポートができています。



つながる ひろがる 生活者と事業者の架け橋となり地域課題を解消する



さいたま市で創業し事業を展開してきた経験と実績、ネットワークを活かし、地域の事業者や地域に暮らす生活者のためにきめ細やかなサービスを提供する。これが、合同会社ままのえんのミッションです。

サービスの担い手であるままのえんのスタッフは、地域の生活者でもあります。地域のことを良く知っているスタッフが、経験やネットワークを活かしてサービスを提供します。ままのえんにつながること＝地域とのつながりを創ることなのです。またスタッフは、柔軟な働き方を選ぶことができます。雇用契約はもちろんのこと、超短時間労働、在宅業務、子連れ出勤、仕事単位での業務委託など、それぞれ希望する形できめ細かに契約をしています。ダブルワークや複業も、もちろん可能です。スキルや能力を生かせる業務を委託し、プロジェクトとしてチームで取り組むことで、収入だけでなく、生きがいややりがいも提供しています。

地域コミュニティと地域の事業者との協働の橋渡しとなり、持続可能な社会の実現に寄与するために。地域コミュニティと地元企業様との事業のために最適なコラボレーションのカたちをご提案しています。



スタッフ募集中

託児部スタッフ／ハンドメイド内職／講師／各種デザイナー

 [詳細はこちら](#)

公式アカウント

LINE 

Instagram 

合同会社ままのえんの SDGs

5 ジェンダー平等  8 働きがいと経済成長  11 住み続けられるまちづくり  12 つくって消費する  17 パートnership 



2024 年実績紹介

創り上げてきたネットワークを活かした新規プロジェクト

公園
×
地域

都市公園イベントの企画広報

秋葉の森総合公園のアウトドアフェスタの企画運営支援

さいたま市西区にある都市公園にて、ご近所の農家さんと協働でイベントを実施しました。キッチンカーや農作物販売などの出店調整をはじめ、広報素材作成や情報発信、近隣保育園幼稚園等へのチラシ配布、さいたま市広報課への情報提供も行いました。想定をはるかに超えるお客様にお楽しみいただきました。

事業
×
顧客

新規ファン獲得のためのSNS運営

冷凍食品製造メーカーの生協向け年間プロモーション支援

香港ギョーザ販売5周年記念キャンペーンを年間でサポートしています。専用ホームページの制作及び専用 Instagram アカウントの開設運用支援、味変レシピの開発、組合員様向けのクローズドイベントの取材などを行なっています。もっと多くの方に情報を届けファンになっていただけるように取り組みを進めています。

経験
×
地方

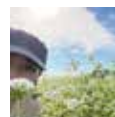
女性創業希望者向けのセミナー

高岡市コミュニティビジネス連続講座事例紹介

富山県高岡市の創業支援施設「TASU」にて行われている女性創業希望者向けの各種取り組みの一つとして、連続講座の事例紹介としてお声がけいただきました。さいたま市で創業し、事業を展開してきた体験や気づきをご紹介します。創業に関してのご相談を受けたりビジネスプランに対してのアドバイスを行いました。



DUAL WORK (デュアルワーク)で奮闘中 新しいワークスタイルの実践者たち 近況報告



小林あゆみの近況報告

合同会社ままのえん代表+埼玉県教育委員会教育委員
勉強会や会議がとてとて多かった2024年



任期3年目、とにかく勉強会や会議が多い一年間でした。夏には山場となった男女別学の県立高校の共学化に関する報告書の提出がありました。この貴重な経験は、是非とも今後の自分の財産として

活かしていこうと考えています。あと1年の任期ですが、埼玉県の教育のためにできることは100%やり切っていきます。遠慮せず発言をしていきます。未来を育てる先生方のため、未来を創る子どもたちのために、精一杯で頑張っていきます。

高橋めぐみの近況報告

合同会社ままのえん事務局長+北海道下川町で新規就農
「農的な暮らし」を実践する

北海道下川町での生活も3年が過ぎようとしています。移住してからは、都市部での活動をオンラインで、北海道では地域おこし協力隊の制度での農業研修を主にしてきました。研修も無事に終了し2025年1月からはいよいよ農業者として営農がスタートします。気候変動、世界情勢など、これ

からの農業は厳しさが増していく事が予想されますが、地域の資源やこれまでのつながりを活かしながら小さくても強い農家をめざします。そして農的な暮らしを実践していきたいです。

